

1年間の活動のまとめー成果と課題ー

【令和5年度の重点】		【令和5年度の成果・課題等】	
教科指導面	昨年度から中間考査を振り返り期間としたことにより、評価方法に関する認識に変化が見られてきた。本年度は更なる指導方法の改善を図り、基礎学力の定着と自ら探究する力を伸ばしていきたい。		中間考査を振り返り期間に変更して2年目となった。部活動の大会前に練習ができるなどの利点もあるが以前に比べ学習量が減るなどの問題点も見られるので、今後の改善にいかしていきたい。
	良き伝統を継承しながら生徒が主体となって学校に変革をもたらすことのできる環境作りに努める。また、自ら考え行動できる生徒を育成し、職員も一丸となって向上心溢れる学校作りに努める。		生徒会および服装指導係が協力して校則の見直しを行った。今までのものを見直しを図り良きものを継承し、新たなる変化の第一歩を踏み出した。また、HPに生徒会規約・校則をアップすることができた。
	生徒の個性を伸ばしながら、進路実現へと繋げる指導を目指していく。そのためにも、早期から進路目標を意識した「しかけ」と「声かけ」を実践していきたいと考えている。		多様な進路希望を持つ生徒一人一人に対して、担任を中心としながら、各学年で声かけと意識付けに取り組んだ。1、2年で進路ガイダンスを取り入れる等、新たなことにも取り組めた。
	5年計画の3年目にあたり南側教室棟の外壁工事の実施予定である。統合型校務支援システム及びタブレット端末の活用法を充実させる。災害時における市の避難場所としての役割を果たしていく。		今年度の外壁工事は今月末で完成予定である。職員の利便性を図るため、勤務処理のシステム化の準備に取り組んでいる。また、今後も災害等、緊急時の避難場所としての役割を果たしていきたい。
	共に創る松元地域活性化推進委員会と連携し、11月に開催のマルシェイベントに参加予定である。「2023かごしま総文」でも芸術文化活動の拠点校として総合開会式等でPRし、存在感を示していく。		天候に恵まれ5千人を超す集客のあったマルシェでは松陽生が大いに地域貢献できた。2023かごしま総文でも多くの部門を牽引し、大会全体の中心となって盛り上げることができた。